



S.Suzuki

# THE NIIGATA DAISHOTEN

## 第47回 新潟大賞典 (GⅢ)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 43,000,000円	17,000,000円	11,000,000円	6,500,000円	4,300,000円
付加賞 560,000円	160,000円	80,000円		



 レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます

4歳以上、2024.5.11以降2025.5.11まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 ハンデキャップ

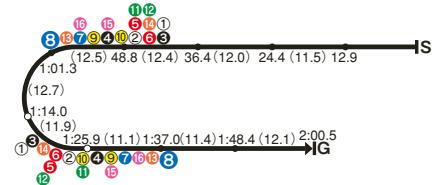
2025. 5.17 新潟 曇・稍重 芝2000メートル (国際) (特指)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600mペース)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑧	シリウスコルト	牡 4	57	古川吉洋	2:00.5	1-1	34.6	486(-8)	19.6⑥	田中勝春(美浦)	110
2	⑯	サブマリーナ	牡 4	56	武 豊	2	12-14	33.8	480(+14)	5.9③	庄野靖志(栗東)	104
3	⑤	ハビ	牡 6	57	菱田裕二	クビ	9-11	34.0	486(-8)	24.8⑩	大久保龍志(栗東)	106
4	⑬	グラントカリナン	牡 5	55	大野拓弥	クビ	2-2	34.9	456(+4)	12.7⑦	田島俊明(美浦)	101
5	⑯	ボーンディスウェイ	牡 6	57	石橋 梢	1/4	6-5	34.7	502(+6)	11.7⑥	牧 光二(美浦)	
6	⑦	オールナット	牡 4	56	北村友一	½	3-4	34.9	524(-4)	7.5④	高野友和(栗東)	
7	①	カネフラ	牡 5	54	藤岡佑介	%	15-15	34.1	452(+4)	57.7⑨	高橋康之(栗東)	
8	③	ディマイザキッド	牡 4	56	田畠望來	ハナ	15-15	34.2	460(±0)	5.0②	清水英克(美浦)	
9	⑥	マイネルメモリー	牡 5	55	丹内祐次	アタマ	12-11	34.5	464(-2)	28.4⑪	徹(栗東)	
10	⑫	レガーロデルシエロ	牡 4	56	戸崎圭太	クビ	12-11	34.7	518(-10)	4.9①	栗田 徹(美浦)	
11	②	バラレーヴィジョン	牡 6	58	吉田隼人	½	9-10	34.7	488(±0)	64.7⑤	国枝 実(美浦)	
12	⑯	サイルーン	騒 5	57	佐々木大輔	1	9-8	35.1	482(-6)	9.7⑤	堀 行宣(美浦)	
13	④	ショウナンアディブ	牡 6	56	丸山元気	1½	6-7	35.3	522(+2)	28.6⑩	高野友和(栗東)	
14	⑩	マテンロウオリオン	牡 6	56	横山典弘	1	8-8	35.5	478(+6)	20.4⑨	昆 貢(栗東)	
15	⑨	エビフィニア	牡 6	58.5	荻野一極	6	5-5	36.6	500(+2)	30.7⑨	宮田敦介(美浦)	
16	⑯	フライライクバード	騒 5	57	小崎嶺也	½	3-3	36.9	448(-8)	133.0⑥	福永祐一(栗東)	

単勝⑧1,960円(8人気) 複勝⑧560円(8人気) ⑯290円(4人気) ⑤700円(11人気) 枠連④-⑦1,350円(6人気)

馬連⑧-145,910円(22人×) ワイド⑧-142,150円(24人×) ⑤-⑧5,950円(73人×)  
⑤-143,130円(46人×)

馬連⑧-⑭3,310円(22人) 3連複⑤-⑧-⑭2,100円(24人) 3連単⑨-⑩-⑪3,300円(75人) 3連複⑤-⑭3,100円(48人)  
馬単⑧-⑭12,230円(48人) 3連複⑤-⑧-⑭56,220円(203人) 3連単⑧-⑭-⑮399,750円(1,333人)



通過タイム : 600ドル 800ドル 1000ドル 上り : 800ドル 600ドル

アニカルト

- ・古川吉洋騎手はヒットザターゲットで制した12年に続く新潟大賞典2勝目。JRA重賞はケイデンスコールで制した21年マイラーズCに続く通算12勝目
  - ・田中勝春調教師はJRA重賞初勝利
  - ・マクフィイ産駒はJRA重賞通算5勝目
  - ・4歳馬の勝利は19年メルドグラースに続く通算13回目
  - ・非当選馬 3頭(エウストナウ、ギャラクシーナイト、ケイアイセナ)
  - ・非拙選馬 4頭(エリカヴィータ、オニヤンコボン、ホウオウノーサイド、マイネルケレリウス)

# シリウスコルト *Sirius Colt*

牡 鹿毛 2021.3.22生  
北海道新ひだか町 千代田牧場生産  
馬主・飯田正剛氏 美浦・田中勝春厩舎  
馬名意味・星の名称+人名より

オーラオブザムーンUSA系 F2-f

マクフィGB Makfi 鹿毛 2007	Dubawi 鹿毛 2002	Dubai Millennium
	Zomaradah	
	Dhelaal 鹿毛 2002	Green Desert
オールドフレイム 青鹿毛 2014	ゼンノロブロイ 黒鹿毛 2000	Irish Valley
	サンデーサイレンスUSA	
	ローミンレイチュエルUSA	
オーラオブザムーンUSA 鹿毛 2010	Tiznow	
	Lady Joanne	

5代までのインブリード : Mr.Prospector S 5 × M5

## INTERVIEW

飯田貴大専務(千代田牧場)

### リズミカルな歩き方をするいい馬でした

本当に強い競馬をしてくれたと思います。曾祖母レディジョアンは社長(飯田正剛代表)が期待して輸入した繁殖牝馬で、曾孫の代から重賞勝ち馬が出たことには感慨深いものがあります。母馬も祖母も体が大きな馬なのでコンパクトなマクフィを配合しましたが、本馬はイメージした通りの体形で生まれ、1歳時はリズミカルな歩き方がとても目をひくいい馬でした。



Y.Machida

今年3月に定年を迎えた宗像義忠教師の管理馬としてデビューした本馬は、2歳時にオープンの芙蓉Sを勝ち、昨年は弥生賞ディープインパクト記念3着、ラジオNICKKEI賞でも2着に食い込んだ。その後の3戦は精彩を欠いたものの、冬場の休養を挟んで立ち直り、管理を引き継いだ田中勝春調教師のもとで本格化。復帰2戦目の福島民報杯を快勝し、弾みをつけて臨んだこの日、新人調教師ともども、嬉しい重賞初制覇を果たした。

### 父マクフィGB

英、仏6戦4勝(英2000ギニーG1、ジャックルマロワ賞・仏G1、ジェベル賞・仏G3)、11年から英、新、仏、日で供用

〔代表産駒〕ボヌヴァル Bonneval(ATCオーカス・豪G1、ニュージーランドオーカスG1、アンダーウッドS・豪G1)、メイクビリーヴ Make Believe(仏2000ギニーG1、フォレ賞・仏G1)、マクファンシー Mkfancy(クリテリウムドサンクルー・仏G1)、ソフィアローザ Sofia Rosa(ATCオーカス・豪G1)、マークマイマーク Marky Mark(マナワツサイヤーズプロデュースS・新G1)、ニードルアンドスレッド Needle And Thread(ロイヤルS・新G2)、エクスパート Expat(ATCミリーフォックスS・豪G2)、イミグランツソング(ニュージーランドトロフィーGII)、オールアットワンス(アイビススマーダッシュGII2回)、ヴァルツアーシャル(マークSIII)、シリウスコルト(本馬)、他に重賞勝ち馬多数

### 母オールドフレイム

北海道新ひだか町 千代田牧場生産 中央2戦0勝  
サイモンコーラル(20 牝父ピーチパトロールUSA)中央22戦2勝(毎)  
シリウスコルト 本馬(21 牡父マクフィGB)中央13戦4勝(新潟大賞典GIII、福島民報杯・L、芙蓉SOP、ラジオNIKKEI賞GIII2着、六甲S・L2着、弥生賞ディープインパクト記念GII3着)獲得総賞金139,706,000円  
(22 牡父ビッグアーサー)  
バラクーダ(23 牡父ビッグアーサー)  
(24 牝父マクフィGB)  
(25 流産)

### 祖母オーラオブザムーンUSA

不出走。11年輸入、16年輸出(米)

### オールドフレイム(14 前出)

アンクルフランク Uncle Frank(18 翼父California Chrome)北米5勝  
ムーンドッグ Moon Dog(19 翼父California Chrome)北米3勝

### 曾祖母レディジョアンUSA

北米6勝(アラバマS G1、ゴールデンロッドSG2、ドッグウッドSG3、バンシープリーズS、マザーグースSG12着、スピンスターSG12着、ボカホンタスSG33着)、11年輸入、23年用途変更

アバベヘン Above Heaven(09 牝父Mr.Greeley)不出走、アヴァンセ USA(伊勢特別)の母

オーラオブザムーンUSA(10 前出)

ダノンオブザイー(14 牡父ディープインパクト)中央1勝

傑出した存在が見当たらず、ハンデ戦らしい混戦ムードに包まれた新潟大賞典の中心と目されたのは、3勝クラスを勝ち上がったばかりの4歳馬たち。レガーロデルシエロを筆頭にディマイザキッド、サブマリーナと、近4戦で3勝を記録している3頭が上位人気の支持を集めた。しかし勝利の女神が微笑んだのは、早くから重賞で好走を重ねてきた4歳馬。8番人気のシリウスコルトが鮮やかに逃げ切り、初のタイトルを手中に収めた。

フルゲートを埋めた16頭に確たる逃げ馬は不在。お互いの出方を探るよう飛び出した各馬のうち、外枠から意欲的に先行したグランドカリナンがまさに先行したグランドカリナンがま

ばで開いたリードが結果的には「決定打」となり、最後までしつかり伸びたシリウスコルトが、大外から追い込んだサブマリーナ以下の反撃を寄せ付けずそのまま押し切った。

一方、マイペースの逃げに持ち込んだ古川騎手は残り800m地点からジンワリ加速。直線に向くと傷みが目立つ馬場の内めを嫌い、真ん中へ持ち出して仕掛け、2番手のグランドカリナンを突き放す。外回りコースの直線半ばで開いたリードが結果的には「決定打」となり、最後までしつかり伸びたシリウスコルトが、大外から追い込んだサブマリーナ以下の反撃を寄せ付けずそのまま押し切った。

今年3月に定年を迎えた宗像義忠教師の管理馬としてデビューした本馬は、2歳時にオープンの芙蓉Sを勝ち、昨年は弥生賞ディープインパクト記念3着、ラジオNICKKEI賞でも2着に食い込んだ。その後の3戦は精彩を欠いたものの、冬場の休養を挟んで立ち直り、管理を引き継いだ田中勝春調教師のもとで本格化。復帰2戦目の福島民報杯を快勝し、弾みをつけて臨んだこの日、新人調教師ともども、嬉しく重賞初制覇を果たした。

鮮やかに逃げ切って嬉しい重賞初制覇